クラウドクレジット株式会社

2018 年 6 月 14 日

【為替ヘッジあり】カメルーン中小企業支援プロジェクト 16 号
運用レポート

表記ファンドはこのたび満期償還期日を迎えましたが、別途お知らせの通り、運用期間を延長させていただきます。そのうえで、現時点におけるファンドの運営状況をご連絡申し上げます。

出資金総額	:	JPY 17,730,000.-
うち投資送金額	:	JPY 16,577,550.-
うち運用手数料	:	JPY 265,950.-
うちヘッジ担保金額		JPY 886,500.-

※次ページの【為替ヘッジ取引について】をご参照下さい。

===運用開始時の状況===

グループ会社貸付実行日	:	2017 年 5 月 9 日
グループ会社貸付金額	:	EUR 134,448.91
適用直物 EURJPY レート	:	123.30
適用先物 EURJPY レート	:	122.16
グループ会社貸付期間	:	2017 年 5 月 9 日から 2018 年 5 月 25 日
資金運用日数	:	381 日
グループ会社貸付金利（年利）	:	14.4%

===2018 年 5 月 25 日時点の状況===

予定グループ会社利息返済額	:	EUR 20,209.32
実現グループ会社利息返済額	:	EUR 0.00
未返済の利息額	:	EUR 20,209.32
予定グループ会社元本返済額	:	EUR 134,448.91
実現グループ会社元本返済額	:	EUR 0.00
未返済の元本額	:	EUR 134,448.91
グループ会社負担外為両替手数料	:	EUR 0.00
出資者返済原資	:	EUR 0.00
運用手数料	:	JPY 265,950.-
円貨換算出資者返済原資	:	JPY 0.-
ファンドの実現利回り	:	最終的な元利金償還を終えるまで未定
募集時期待利回り	:	10.7%（期間：2017 年 5 月 9 日～2018 年 5 月 31 日）

為替ヘッジ取引について

2018 年 5 月期分配にかかる実現直物 EURJPY レートについて本ファンドの返済原資であるグループ会社間ローン返済金額については、運用開始時において、ヘッジ相手先である MFX Solutions,Inc.（以下「MFX 社」といいます。）と上表に記載の適用先物 EURJPY レート 122.16 円/EUR（以下「運用開始時先物レート」といいます。)で為替予約を行い、トレードファイナンスの元本と利息が予定通りに返済される場合に、それを原資とするグループ会社間ローン返済金額の全額（ユーロ貨）を MFX 社に送金するとともに、運用開始時先物レートで当該ユーロ貨に相当する日本円を MFX 社から受領する予定でした。

しかしながら、2018 年 5 月 30 日にお送りさせて頂きました契約期間延長のお知らせでもお伝えしております通り、カメルーンの現地パートナーである Ovamba Cameroon Solutions Sarl（以下「オバンバ社」といいます。）から Crowdcredit Estonia OÜ（以下「当社エストニア法人」といいます。）の貸付先であるモーリシャスの Pan Africa Investment Funding Limited PCC（オバンバ社のグループ会社、以下「Ovamba モーリシャス法人」といいます。）への送金が滞り、本ヘッジ取引の履行が当初予定していた通りオバンバ社からの返済金をもって決済をすることができませんでした。

MFX 社との契約に従い 2018 年 5 月中に為替予約したユーロ貨を送金するため、営業者（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）は一旦為替予約したユーロ額（EUR154,658.23）を直物レート（128.53 円/EUR）で調達して MFX 社に 5 月 24 日に立て替え送金いたしました。（立て替え額は銀行手数料込で 19,882,722 円）（A）

その後、営業者は MFX 社から運用開始時先物レートで交換した日本円貨額（18,893,050 円）（B）を受け取り、さらに、出資者ヘッジ担保金として預託していた米ドル貨を円貨に替えて引き出された額（844,576 円）（C）を営業者が一旦立て替えた円貨の返済に充てました。現在、営業者の立て替え残高は 145,096 円（=(A)-(B)-(C)）となっており、オバンバ社からの返済金額が着金し、グループ会社ローンの返済が行われた際には、この立て替え残額を清算したのち、ファンドの分配原資とさせていただきます。

なお、本ファンドに係る為替ヘッジ取引は、その取引の期限である 5 月末の営業者による全額建て替え処理で完了しておりますので、今後カメルーンで回収が進みそれを元にグループ会社間ローン返済が行われる際には、その返済時の為替レートはその時点での直物レートが適用されることになります。

今後カメルーンで回収金が発生してグループ会社間ローン返済が行われてお客様に分配金が出る場合に為替水準が運用開始時直物レート（123.30 円/EUR）より円安ユーロ高の状況であると、円安による為替差益が発生いたします。また逆に、回収できた時期の為替レートが（123.30 円/EUR）よりも円高ユーロ安となった場合には為替差損が発生しますことをご了解願います。

運用者コメント

本ファンドは、エストニア子会社が投資家様からご出資いただいた資金で参加しているカメルーンのトレードファイナンス事業からの資金回収に延滞が生じ、ファンド帰属財産の全てを回収できていないことから、運用期間の延長を行っております。

これに際して、オバンバ社は Ovamba モーリシャス法人の所在国（モーリシャス共和国）の政府機関である金融情報部門（Financial Intelligence Unit）が発行した本件取引内容に関する証明書の提出を求められました。これをうけて、オバンバ社並びに弊社は本件の早急な解決に努め、現在、必要書類等の提出は完了しております。

オバンバ社から本営業者のグループ会社である当社エストニア法人への未返済額は EUR 162,193.20 (2018 年 5 月 25 日時点)となっております。オバンバ社における資金の回収は、全額回収済みとの報告を受けておりますが、現状発生しているカメルーンからの送金遅延によって、エストニア子会社への 2018 年 5 月中の着金が確認できておりませんでした。本営業者から当社エストニア法人に貸し付けたローンの未返済元本は EUR134,448.91 (2018 年 5 月 31 日時点)となっております。

今回の送金遅延に関し、弊社はオバンバ社より以下の報告を受けています。

- カメルーンからの国外送金に関しては、毎年年初に監査が行われている中で、今年はその内容が厳格化されています。その背景にある要因として、2017 年 6 月に IMF がカメルーンに対して約 700 億円の与信プログラムを承認（貸付実行済は約 180 億円）しており、それを受け、当プログラムにおける与信条件を満たすべく、カメルーン政府が国外送金の根拠の確認に関して通常より厳しいプロセスを要求していることが挙げられます。
- 今回の国外送金に関し、オバンバ社は Ovamba モーリシャス法人の所在国（モーリシャス共和国）の政府機関である金融情報部門（Financial Intelligence Unit）が発行した取引内容に関する証明書を求められたため、必要書類等を提出しました。しかしながら、カメルーン当局からの正式な送金承認が遅延しており、オバンバ社のカメルーンにおける取引銀行である Ecobank Cameroon から Ovamba モーリシャス法人への資金移動が出来ておりません。
- 現在、オバンバ社及び弊社では、早急な解決を目指すべく、カメルーン国内の法律事務所の協力のもと、本件送金承認書の早期取得に向けてカメルーン政府の担当省庁へ継続的な交渉を行っております。

引き続き、本営業者は財産の回収が完了するまで、オバンバ社と協力しながら投資家様の利益最大化を図ってまいります。

一方、かかる回収事業には一定の時間が必要になるため、本営業者であるクラウドクレジット株式会社は延長期間を 6 ヶ月、延長後の最終期を 2018 年 11 月期と決定しました。カメルーンでの回収事業が迅速に進み、すべての財産の回収が 2018 年 11 月より前の期に完了したときには、その期をもって本ファンドの運用は終了いたします。

＜会社概要（クラウドクレジット株式会社）＞

【代表者】杉山智行　　【設立年月日】2013 年 1 月

【資本金等】1,234,548 千円　　【URL】https://crowdcredit.jp/

第二種金融商品取引業

関東財務局長(金商)第 2809 号

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入